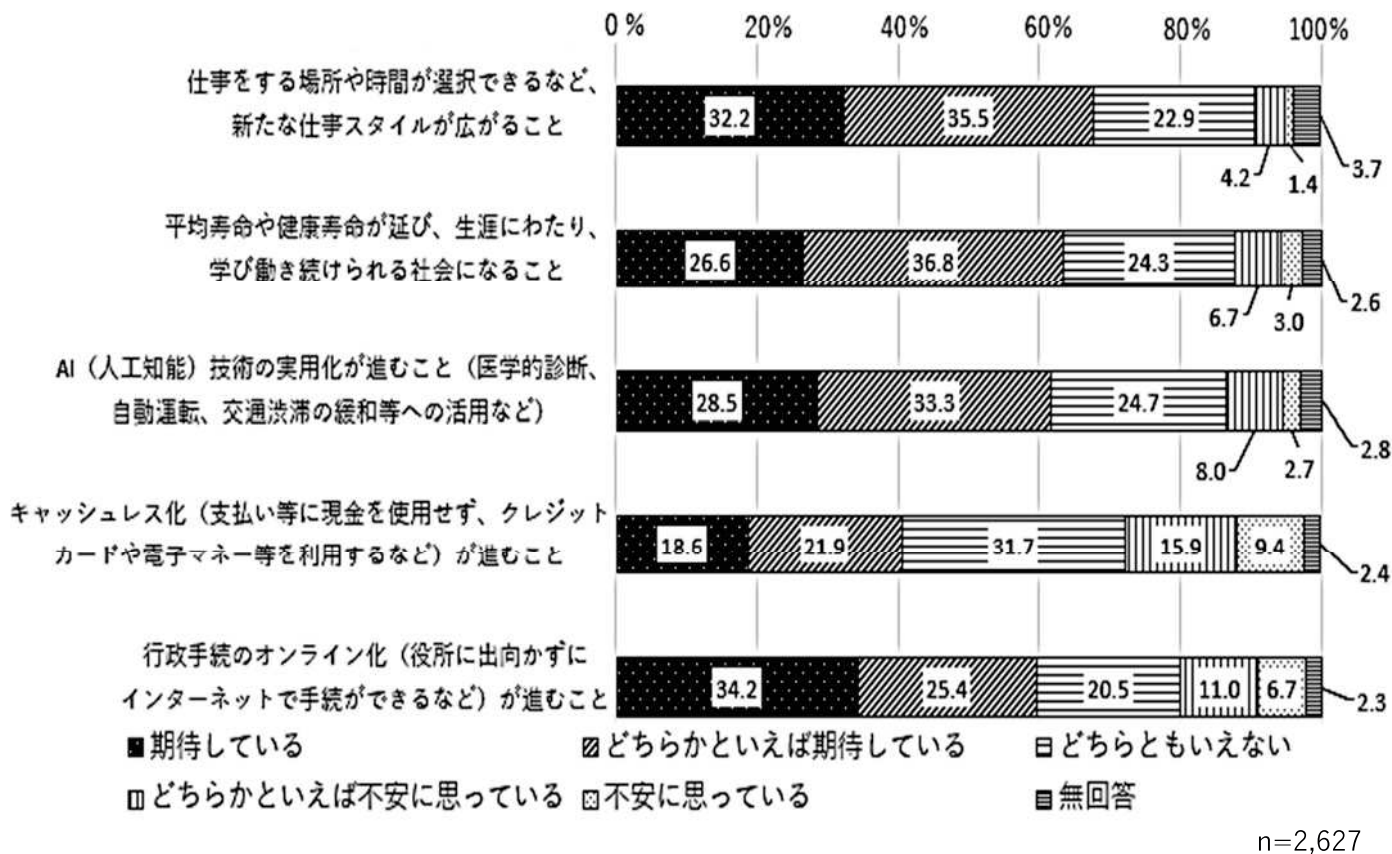


新しい生活様式が浸透しつつある中で、次の2つの資料から、横浜市の持続的な成長・発展を実現するために、あなたが重要と考える横浜市の課題及びその背景を簡潔に述べなさい。

また、課題に対して横浜市が進めるべき具体的な取組及びその効果を述べなさい。

<資料1>生活を取り巻く環境の変化への期待・不安

質問：私たちの生活を取り巻く環境は、今後、様々に変化していくと言われていますが、あなたは次の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。
(○はそれぞれ1つ)



【「令和2年度横浜市民意識調査」より作成】

【表記について】

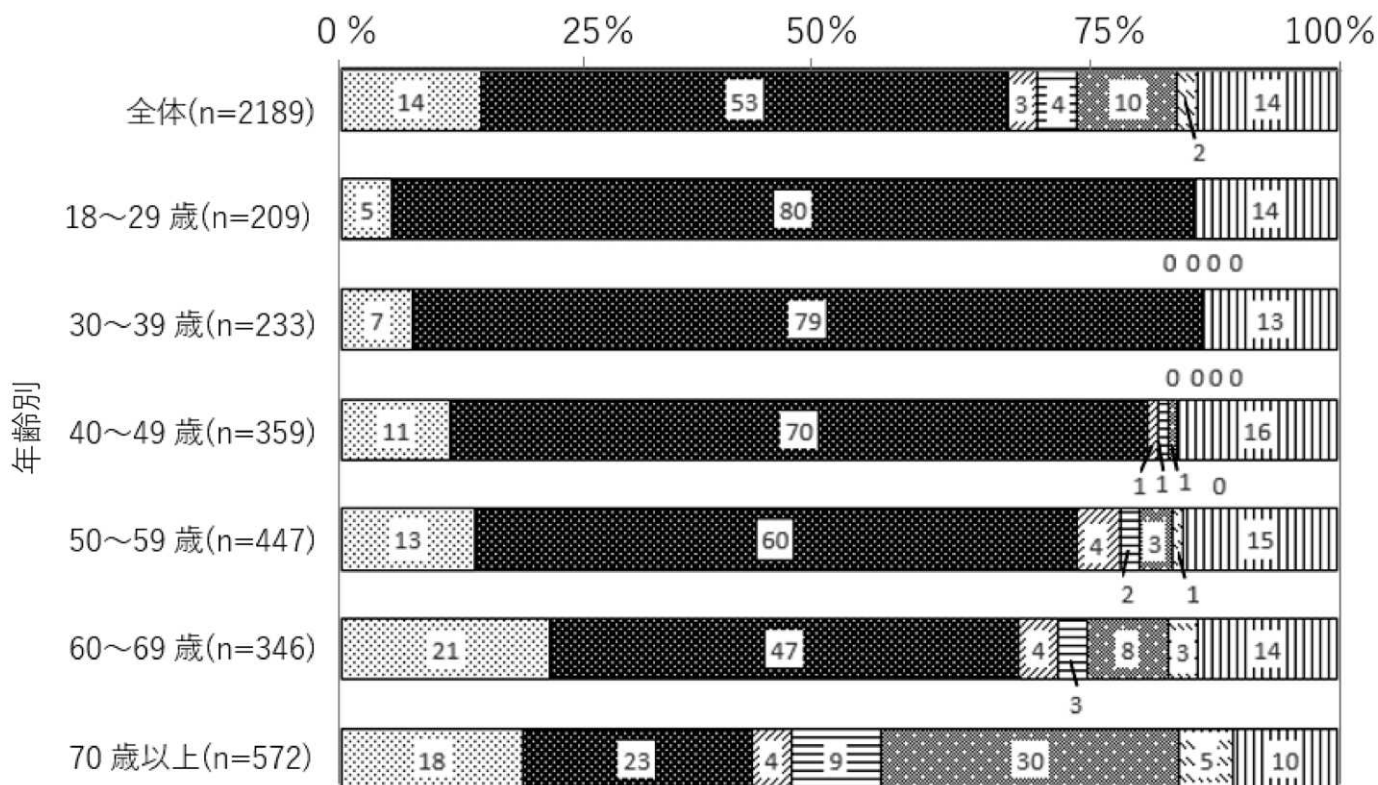
百分比は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。

【参考】

- ・調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者（18歳以上）
- ・調査方法 郵送配付、郵送回収又はインターネット回収
- ・調査時期 令和2年10月8日～10月27日

<資料2>最も使う情報端末

質問：普段、情報を得るときにパソコンやスマートフォンなどの端末を使いますか。



- パソコン
- スマートフォン
- タブレット
- 端末を持っているが、情報を得るためには使っていない
- 端末を持っていない
- その他
- 無回答

※上記の棒グラフは、左から【パソコン】【スマートフォン】【タブレット】
【端末を持っているが、情報を得るためには使っていない】【端末を持っていない】
【その他】【無回答】の順で割合(%)を表示。

【表記について】

報告書では、アンケート回答の集計結果(割合%)を小数点以下第一位の四捨五入により整数値として表記しているが、グラフ作成に使用している集計結果は小数点以下を持ったデータとして処理をしている。このため、同じ整数値であってもグラフ面積や長さが異なっていたり、合算値が100とならない箇所がある。また、全体(n=2189)には年齢無回答者の回答も含むため、年齢別回答者数の合計とは一致しない。

【「令和2年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果報告書」より作成】

【参考】

- ・ 調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者(18歳以上)
- ・ 調査方法 郵送配付、郵送回収
- ・ 調査時期 令和2年11月6日～12月10日